

平成 17 年 5 月 10 日

中部大学のソーラー飛行船にヘリウムガスを提供

大陽日酸株式会社(社長:田口 博)では、3月25日より開催されております愛知万博(愛・地球博)にあわせ、中部大学が中継基地用にとっております係留型ソーラー飛行船に協賛し、ヘリウムガスを無償で供給しましたのでお知らせします。

記

1. 概要

愛知県春日井市の中部大学工学部電子情報工学科(梅野 正義教授)では愛知万博(愛・地球博)の期間中、無線インターネットの中継基地や搭載ビデオカメラで映した万博会場の様子をインターネット配信するなどの実験用としてソーラー飛行船を上げております。ソーラー飛行船は、クリーンな太陽エネルギーを原動力とする飛行船で、極めて省エネルギー、静かで、将来有望視されており、同学科では、無線LAN装置やカメラ機器を搭載し、電源としては太陽光発電パネルを使用、これまで継続的にテストを行っていました。

当社は、同大学には半導体関連事業において、ガス、関連機器・装置等の供給を行っていることから、今般環境に配慮したソーラー飛行船の実験にあたって、協賛を行うこととし、実験用ヘリウムボンベ90本を無償提供いたしました。同飛行船は、将来大地震などの非常時に活躍する情報拠点地としての実用化も期待されています。

2. バルーン係留地

愛知県長久手町 (万博会場の横)

以上

本件に関するお問い合わせ

大陽日酸株式会社 品川区小山1-3-26 東洋 Bldg. 経営企画・総務本部 広報部 高橋・追川 TEL: 03-5788-8015 FAX: 03-5788-8700



ソーラー飛行船